

○訓令第六十三號(廿一年四月廿八日)
他府縣へ出稼雇人タラントスル者身元ヲ證明スル添書ヲ請求セシトキハ原籍又ハ現住地戸長
ニ於テ事實相違ノ有無ヲ取調添書取計フヘシ

戸長役場

○訓令第六十八號(二十一年五月九日) 郡 役 所
諸帳簿ノ義年々増加此儘數年經由候テハ自然格護場所ニモ差支ヲ來ス様可相成而シテ書類中
多年保存ノ必要ナキモノモ少カラス候ニ付此際保存期限ヲ定メ其取扱手續項目等取調經伺ノ
上施行スヘシ

○訓令第二百二十三號(二十一年九月二十日)

町 村 役 場

管下ニ在籍又ハ寄留中ノ石川縣巡查看守及ヒ其遺族ニシテ巡查看守給助例ニ依リ年金ヲ受ク
ヘキ者ヨリ給助金請求書ニ町村長ノ奥書申出テタルトキハ町村長ハ給助例第五條第一項並第
八條第九條ニ相當スル者無之哉取調ノ上奥書シ本人ヘ交付スヘシ

○訓令第二百二十二號(廿三年八月廿六日)

郡役所 監

獄 警察署

警察分署

收税部出張所

縣立學校

歸省及旅行等ヲ願出ントスルモノハ滞在并ニ往復日數ヲ算定シ願出ツヘシ

○訓令第二百二十八號(廿三年八月廿六日)

歸省又ハ旅行等ノ願書ハ自今副本ヲ差出スニ及ハス

監獄郡役所警察署警察分署
收税部出張所縣立學校

○三十年三月十六日訓令四
 十一號ニテ改正アリ
 ○三十年五月十一日訓令八
 十一號改正アリ
 ○三十年十二月二十一日訓
 令百四十九號ニテ改正追
 加アリ
 ○三十一年三月三十日訓令
 廿五號ニテ改正删除アリ
 ○三十三年一月二十二日訓令
 一號ヲ以テ追加アリ
 ○三十三年一月二十日訓令
 第三號ニテ追加改正アリ
 ○三十四年三月十九日訓令
 二號ニテ追加改正アリ
 ○三十四年十一月十五日訓
 令八十九號ニテ追加改正
 ○三十六年三月十三日訓令
 第二十五號ニテ追加

○訓令第九十二號(二十四年三月三十一日)

明治二十二年三月訓令第四十號宮崎縣報告例別冊ノ通更定ス但別冊ハ別ニ頒ツ(別冊ハ畧ス)

郡役所 警察署 警察分署
監獄支署 町村役場

○訓令第八十七號(廿五年五月廿三日)

町 村 役 場

郵便ニ依リ送達スル訴訟書類ヲ民事訴訟法第百四十五條第二項ニ據リ町村長ハ預ケ置キタル書類ニシテ其送達ヲ受クヘキモノ在ラサル場合ニ於テ町村役場ヨリ返還スル向有之哉ノ趣右ハ法文ノ旨趣ニ相反スル儀ニ付其儘役場へ留メ置クヘシ



○宮崎縣令第六十二號(廿五年十月廿七日)
古墳古物等取締規則左ノ通定ム

古墳古物等取締規則

第一條 官民ノ地内ニ於テ左ノ箇所ノ開堀若クハ埋立ヲ爲シ又ハ其箇所ニ在ル竹木ノ類ヲ伐ラントスル者ハ豫シメ其事由、地名、現況及近傍ノ模様ヲ記シ圖面ヲ添ヘテ知事ニ伺出ツ可シ

但本文ト全キ箇所ニ付他ノ成規ニヨリ許可ヲ受クヘキモノハ全時ニ本文ノ書類ヲ差出ス可シ

一古墳又ハ古墳ト見ユル所 二由緒又ハ古キ言ヒ傳ヘアル所

第二條 官民ノ地内ニ於テ開堀若クハ埋立ヲ爲シ又ハ其箇所ニ在ル竹木ノ類ヲ伐ルニ當リ第一條ノ箇所ヲ見出シタル者ハ先其工事ヲ止メテ第一條ノ手續ヲ爲ス可シ

第三條 官民ノ地内ニ於テ左ノ物品(遺失物ヲ除ク)ヲ見出シ又ハ掘出シタル者ハ三日以内ニ其事由地名及其地ノ模様ヲ述ヘ實物ヲ添ヘテ所轄警察官ニ届出ツ可シ

一昔ノ遺物又ハ遺物ト認ムル物 二古キ圖書畫ノ類

第四條 本則ニ違反シタルモノハ三十日未滿ノ拘留又ハ貳拾圓未滿ノ科料ニ處ス

○訓令第四百一十一號(廿五年十一月七日)

郡役所 警察署 警察分署 町村役場

本縣ハ古代ノ遺蹟遺物ノ類多ク地理上歴史上共ニ我カ國體ニ著シキ關係ヲ有スルヲ以テ之ヲ保存スルハ最モ必要ノコト、ス然ルニ從來道路又ハ水路ヲ開鑿シ山野荒蕪地ヲ開拓シ又ハ鑛物ヲ採掘スル等ノ際古墳又ハ古物ヲ發見シ或ハ豫メ之ヲ認知シナカラ古物ヲ得ルノ目的ヲ以テ之ヲ開掘スルモノ等ナキニアラサリシモ其保存ノ法充分ナラサルモノ多ク爲ニ地理上歴史上ノ考證ヲ失フノミナラス舊蹟古物ノ廢亡ヲ免レサルコト少カラス是レ今般縣令第六十二號古墳古物等取締規則ヲ發シタル所以ナリ依リテ篤ク此ノ旨趣ヲ体認シ心得違ノ者無之様注意致スヘシ而シテ若シ發見ノ古物等ニシテ當應ニ於テ保存スルコトヲ欲スル者アレハ之ヲ聞届クルコトアルヘキニ付便宜密附セシメ候様取計フヘシ

○町村制施行以來ノ諸令達中何々浦役場トアルハ其町村役場ノ誤リ又町村役場浦役場トアル
浦役場ノ三字ハ衍(廿五年十二月六日
知事官房ニテ正誤)

○訓令第二號(二十六年一月十三日)

警察署 警察分署

明治二十五年十一月十一日 宮崎縣令第六十二號古墳古物等取締規則第三條ノ届出アルトキハ現品ニ其
見出シ又ハ掘出シタル場所並近傍ノ模様ヲ詳記シタル繪圖面ヲ添へ當廳内務部第一課ニ送附
ス可シ但物質脆弱ニシテ運搬途中毀損ノ虞アルモノ又ハ大形等ニシテ運送ニ不便ナルトキハ
其形狀ヲ模寫シテ之ヲ送付ス可シ

○訓令第五百十八號(廿六年十一月廿九日) 郡役所 町村役場
明治二十六年十一月十一日 縣令第七十號ヲ以テ縣令及公布ノ方法ヲ定メタルニ付テハ尙揭示場ニ揭示
スル等便宜ノ方法ヲ以テ精々一般ニ周知セシムル様取計フヘシ

○訓令第二十四號(廿七年二月四日) 判任官并判任待遇者
判任官以下ニシテ有位帶勳ノ輩三大節賀表差出候節ハ非役同様明治二十六年宮内省乙第八號
第二書式ニ據リ差出スヘキノ處間ニハ官名ヲ記載セル向モ有之不都合ニ付爾來右様ノ義無之
様心得ヘシ

○訓令第八十四號(二十八年十月五日) 町 村 役 場
北海道集治監看守給助例施行細則規定ニ付證明方ノ件照會有之候條右證明ヲ請フモノアルト
キハ證明スヘシ但證明ノ節全細則必要有之候ハ、本縣内務部へ照會スヘシ

○訓令第六十九號(廿九年六月十八日)

郡役所 町村役場

今般内務省訓令第四號ヲ以テ寄留ニ關スル届書取扱方規定ニ付テハ届書ノ送付ヲ受ケタル町
村長ハ出寄留入寄留又ハ退去ノ届ヲ怠ルモノナキヤ否ヤニ注意シ時宜ニ依リテハ本人又ハ地
主家主等ヲ喚問シ或ハ警察官ニ囑托シテ取調ヲ爲ス等專ラ整理ヲ目的トシテ嚴密施行スヘシ

○訓令第九十六號(二十九年八月二十九日)
他へ寄留中本籍ヲ轉シタルモノ寄留地ニ届出アリタルトキハ入寄留簿訂正ノ手續ヲ了シタル
後其届書ハ本年六月内務省令第四號ニ準據シ轉籍地市町村長ニ送付スヘシ

郡役所 町村役場

○訓令第九十七號(二十九年八月二十九日)

郡役所 町村役場

露國所領地内へ渡行スル本邦人ハ凡テ在本邦同國領事館ニ就キ自己ノ旅券ニ査證ヲ受クヘキ
制規ナルニ往々其手續ヲ怠ルモノ有之候趣就テハ來ル千八百九十七年(明治三十年)一月一日
以降ヨリ右ノ手續ヲ履行セサルモノ薩哈噠島漁業場ニ雇ル、職工ヲ除ク外凡テ同領内へ入ル
コトヲ許サ、ル趣其筋ヨリ申來リ候條心得違ノモノ無之様取計フヘシ

○訓令第百六號(二十九年九月二十九日) 郡役所 町村役場
入寄留者ニ屬スル失踪ノ如キハ明治二十九年六月内務省訓令第四號ニ準シ取扱フヘキ儀ト心得
ヘシ

○訓令第三百三十號(廿九年十二月十一日)

郡役所 町村役場

本年十一月内務省令第十一號ヲ以テ明治十九年内務省令第十九號へ第九條追加相成候ニ付町村役場ニ於テハ外國渡航人名簿ヲ調製シ渡航又ハ歸朝ノ届出アリタルトキハ戸籍取扱手續第廿三條出寄留簿及第廿四條出寄留者復歸記載例ニ依リ取扱ヒ其届書ハ總テ便宜編綴保存スヘシ

○訓令第十七號(三十年一月)
甲地本籍ハニシテ乙地ニ寄留ノ者乙地ヲ退去シ更ニ丙地へ寄留ノ届出ヲ爲ストキハ甲本籍地
町村長ハ其趣ヲ乙地ニ通知スヘシ

郡役所 町村役場

○訓令第二十三號(三十年二月十日)

郡役所 町村役場

露國所領地内へ渡行スル本邦人ハ凡テ在本邦同國領事館ニ就キ自己ノ旅券ニ査證ヲ受クヘキ旨客年八月訓令第九十七號ヲ以テ及訓令置候處尙ホ在本邦同國領事館ノ設ケナキ地方ヨリ同國領地へ渡航セント欲スル者ハ所轄縣廳ニ願出テ證明書ヲ得テ旅券ニ添へ本人ヨリ郵便若クハ代人ヲ以テ査證方最近同國領事館ニ出願シ右手敷料モ願書ト同時ニ郵便若クハ其他ノ方法ヲ以テ納付差支無之趣ニ付該當者有之候節ハ其旨指示方取計フヘシ

○訓令第六十號(三十年三月)
北海道廳警視廳及府縣ニ於テ追々巡查看守給助例施行ニ付自今該例ニ依リ給助ヲ受クルモノ
ニシテ願書等へ奥印ヲ請フ者アルトキハ篤ト事實ヲ札シ奥印取計フヘシ

郡役所 町村役場

○告示第六十號(三十年四月八日)
南那珂郡鷓戸村大字宮浦速日峰ノ古墳及東白杵郡北川村大字長井京塚ハ御陵墓傳説地トシテ
兒湯郡下穂北村大字三宅男狹穂塚、女狹穂塚ハ御陵墓參考地トシテ宮内省ニ於テ該地跡ヲ保
存セラル

○訓令第九十六號(三十年七月三日)
佛領印度支那ニ赴カントスル者アルトキハ其出發ノ際在本邦佛國領事館ニ就キ旅券ノ査證ヲ
受ケシムヘシ

郡役所 町村役場

○訓令第九十一號(三十一年十月十九日)
郡役所 町村役場
從來戸籍ノ送籍狀へ添付ヲ要セシ取調事項ハ戸籍法施行後ニ在テハ戸籍吏ニ於テ除籍後十日
以内ニ關係市東京京部大坂ノ三市ニ在テ區長ノ分掌ニ係ルキハ區長町村長へ通知スル儀ト心得ヘシ

○宮崎縣公告第一號(三十二年四月一日)(宮崎縣文官普通試驗委員長)

宮崎縣廳文官普通試驗科目及細則左ノ通改定ス

宮崎縣廳文官普通試驗科目及細則

第一章 試驗科目及手續

第一條 本廳ニ於テ行フ文官普通試驗ハ左ニ列記スル科目ニ就キ之ヲ行フ但本廳ノ須要ニ從ヒ其程度ヲ斟酌スルコトアルヘシ

一 讀書 漢文 漢字交リ文

一 作文 漢字交リ文 往復文

一 筆寫 楷書 行書 草書

一 數學 算術 代數 幾何 三角法

一 法令 府縣制 郡制 市町村制 森林法 小學校令 府縣稅徵收法 會計法 會計規則 警察法規 監獄則 行政裁判法 訴願法 刑法 刑事訴訟法 其他行政法令

以上ノ科目ハ試驗ヲ行フニ際シ之ヲ取捨スルコトヲ得ス

一 地理 宮崎縣地理 本邦地理 外國地理 地文

一 歷史 宮崎縣沿革 本邦歷史 外國歷史

一 博物 動物 植物 礦物 人身生理

一 理化學 無機化學 物理學

一 簿記 單記 複記

一 圖畫 自在畫法 用器畫法

一 外國語

以上ノ科目ハ試験ヲ行フニ際シ之ヲ取捨スルコトヲ得

第二條 試験ノ科目及其程度並ニ期日場所等ハ少クモ一ヶ月以前ニ試験委員長之ヲ公告ス

第三條 試験委員長ハ受験人名簿ヲ調製シ各受験人ノ番號ヲ定メテ記入シ之ヲ受験人ニ通知スルモノトス

第四條 試験ハ筆記及口述ノ二次トス
筆記試験ハ受験人總員ヲ一室又ハ數室内ニ入レ試験委員長ノ豫定シタル時間内ニ於テ各科擔任ハ試験委員之ヲ行フ但試験委員長ニ於テ必要ト認ムルトキハ試験委員二名以上臨監スルコトアルヘシ

口述試験ハ筆記試験ニ合格シタル者ニ對シ試験委員二名以上列席ニ於テ筆記試験科目ノ中ニ就キ受験人壹名毎ニ之ヲ行ヒ其ノ時間ハ三十分以内トス但其ノ期日及場所ハ試験委員長豫メ之ヲ通知スヘシ

第五條 受験人多クシテ同日ニ試験ヲ施行スル能ハサルトキハ試験委員ニ於テ別ニ問題ヲ撰ビ試験期日ヲ異ニスルコトヲ得

第六條 試験室ハ定刻十分前ニ開キテ受験人ヲ入ラシメ定刻ニ於テ閉鎖ス

第七條 法律類聚官報其他公然ノ法章ニシテ試験委員長ニ於テ受験者ノ參考上必要ト認ムルモノハ筆記試験ノ際室内ニ備置ゴトヲ得

第八條 試験問題ハ各科擔任ノ試験委員之ヲ選定シ試験ノ三日前試験委員長ニ差出スヘシ

第九條 試験委員ハ兼テ受験人ノ言語動作適任ナルヤ否ヤ及其答案ヲ草シ并ニ口述ノ確實敏捷ナルヤ否ヲモ監察スルヲ要ス

第十條 試験ハ傍聽ヲ許サス但試験委員長ノ許可ヲ得タル官吏ハ此限ニアラス

第十一條 試験科目ノ評點ハ一百ヲ以テ滿點トシ各科目ノ評點五十以上通得點六十以上ヲ合格トス但取捨シ得ヘキ各科目ノ評點ハ四十以上ヲ合格トス

第十二條 試験委員ハ試験ノ終了後五日以内ニ答案ニ評點ヲ付シ其他試験成績ノ報告書ヲ試験委員長ニ差出スヘシ

第十三條 試験合格者ヲ定ムルハ試験委員長ノ上席ニ於テ試験委員審査會ヲ開キ更ニ前條ノ成績ヲ查覈シテ議定スルモノトス

第十四條 試験委員長ハ審査會ニ於ケル議決ノ數ニ加ラヌ其議決ニ關シ試験委員ノ説可否相半ナルトキハ試験委員長ノ定ムル所ニ依ル

第十五條 試験委員長ハ試験合格者ニ書式ニ據リ合格證書ヲ與ヘ仍其本籍氏名ヲ公告ス

第二章 受験者心得
第十六條 試験願書ハ書式ニ從ヒ試験期日十五日前マテニ差出スヘシ但品行ニ關スル證書アラハ其寫ヲモ添付スヘシ

第十七條 試験手数料ハ收入印紙ヲ用ヒ試験願書ニ貼付スヘシ但試験ヲ受ケサルコトアルモ還付セス

第十八條 試験願書ニハ兵役ヲ免ラレ又ハ猶豫セラレタル本籍市町村長ノ證明書ヲ添付スヘシ

第十九條 受験人ハ試験定刻三十分前マテニ試験場ニ參集シ出頭届簿ニ其宿所氏名ヲ記入スヘシ

第二十條 受験人豫メ指定シタル日時ニ出席セサルトキハ當期ノ試験ヲ受クルコトヲ得ス

第二十一條 受験人ハ洋服又ハ袴ヲ着用スヘシ

第二十二條 受験人ハ書類其他受験ノ材料トナルヘキモノヲ携帶シテ室内ニ入ルコトヲ得ス

但試験ニ要スル文具類ハ用紙ヲ除ク外總テ之ヲ携帶スヘシ

第二十三條 受験人ハ答案ニ豫定ノ番號ヲ記シ其ノ姓名ヲ掲クルコトヲ得ス

第二十四條 答案ハ楷書若クハ行書ニテ明瞭ニ記スヘシ

第二十五條 受験人ハ試験問題ニ就キ疑義アルモ質問スルコトヲ得ス

第二十六條 受験人ハ試験室内ニ於テ互ニ談話シ或ハ喧騒スルコトヲ得ス

第二十七條 受験人ハ試験時間中自ラ退室スルヲ得ス退室シタルハ當期ノ試験ヲ受クルヲ得ス

第二十八條 試験ヲ終リタル者ハ當日未タ試験ヲ終ラサル者ト交話スルヲ許サス

第二十九條 受験人ハ試験手續ニ關スル規則及試験委員ノ命令ヲ遵守スヘシ犯ス者ハ當該ノ

試験委員ニ於テ退場ヲ命シタル後之ヲ試験委員長ニ報告シ其ノ試験ヲ拒ムコトヲ得

第三章 書式

第一式

文官普通試験願

(用紙半紙)

族籍戸主又ハ何某何男養子兄弟等ノ別

職業 姓 名

生年月日

印紙

私儀明治二十六年勅令第九十七號文官試験規則ニ基キ文官普通試験相受度別紙履歴書(卒業證書寫)兵役ニ關スル證書相添此段奉願候也

年 月 日

現住所

姓 名

宮崎縣廳文官普通試験委員長姓名殿

第二式

(用紙半紙)

履 歷 書

(楷書又ハ行書ニテ
明瞭ニ認ムヘシ)

何府縣華士族平民

姓

名

年 月 日 生

本 籍

一何府縣何國何郡區何町村何番地戸主又ハ何某男弟伯叔父等△現ニ本籍地ニ居住スルトキハ(現今本
地ニ居住)ノ数字ヲ本項ニ控記シ次項

ノ現今寄留地
ヲ省クヘシ

現今寄留地

△ハ朱字以下全シ

住所ノ移動
一何年何月何日ニ生レ何年何月マテ居住

一何年何月何日ニ移轉シ何年何月マテ同所ニ居住

△右ハ居住移轉スル毎ニ記載スヘシ

學 事

一何年何月ヨリ何地何某ニ就キ又ハ官公私立何學校ニ於テ何學ヲ修メ何年何月ニ至ル所修ノ
書籍大畧何々

一何年何月ヨリ何地官公私立何學校ニ入り何學科ヲ修業シ何年何月卒業ス其證書ノ寫別紙ノ
如シ修業何年何月間ニシテ其科目ハ何々

一何年何月何地學校(何々)ニ於テ何々ノ試験ヲ受ケ及第ス其證書若クハ免許狀ノ寫別紙ノ如

シ受験ノ科目ハ何々

職ノ業

一何年何月何地官公私立何學校何科教員トナリ教授ニ從事シ何年何月解職其間何々ヲ兼勤シ
何々ノ事務ニ從事ス以上辭令ハ左ノ如シ

△此所ニ辭令ノ全文ヲ各通トモ掲記スヘシ又私立學校等ニテ辭令ナキモノハ之ヲ省キ其俸
給等ヲ本文ニ詳記スヘシ

一何年何月何官廳ニ於テ何々拜命何年何月マテ何々ノ事務ニ從事シ何年何月辭職以上ノ辭令
左ノ如シ

△辭令ノ全文ヲ掲シ

一何年何月ヨリ何地何會社ニ雇ハレ(俸給月何圓)何々ノ業務ニ從事シ何年何月ニ至テ解雇其
間俸給ノ増加何回最終俸給月何圓

一何年何月ヨリ何年何月マテ何業ニ從事ス

一何年何月ヨリ何々ノ著譯ニ從事シ何年何月ニ至ル其著譯スル所ノ書名左ノ如シ

△著譯書名ヲ掲ク但洋書ハ其原名ヲモ記スヘシ

賞ノ罰

一何年何月何地ニ於テ何々事由ノタメ賞ヲ受ク其辭令左ノ如シ

△辭令全文ヲ掲ケ辭令ナキモノハ本文中ニ受賞ノ事由ヲ詳記スヘシ

一何年何月何々ノ功ニ依リ勳章ヲ授ケラル其辭令左ノ如シ

一何年何月何地ニ於テ何々事由ノタメ罰ヲ受ク

△辭令アルモノハ各其全文ヲ掲ケ辭令ナキモノハ本文中ニ其事由ヲ詳記シ又裁判所ノ宣告

書ハ其要ヲ記スヘシ總テ罰ノ日數過料罰金ノ額等ヲ記スヘシ

破産家資分散若クハ身代限ノ有無

一何年何月何地ニ於テ破産(家資分散、身代限)ノ宣告ヲ受ケ何年何月何日復權(債務ノ辨償

ヲ終フ)又ハ本項記載スヘキコトナシ

△右ノ處分ニ付裁判所ノ宣告文ヲ記スヘシ

年月日

右

氏

名印

第三式

(用紙鳥子)

合格證書

第何號

何府縣華士族平民

氏

名

生年月

明治何年何月宮崎縣ニ於テ施行シタル文官普通試驗ニ合格シタルコトヲ證ス

年

月

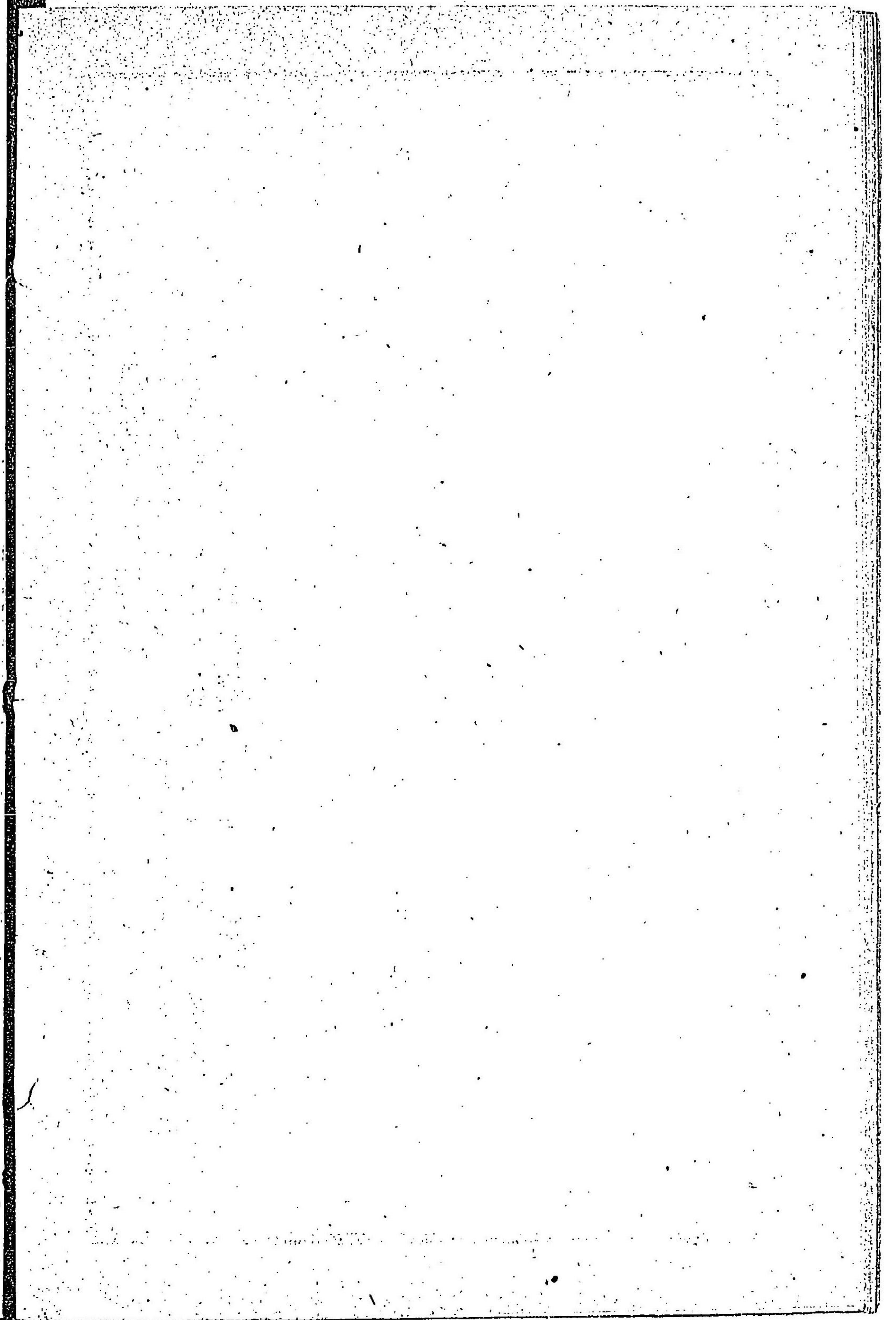
日

宮崎縣文官普通試驗委員長

官位勳氏

名印

○宮崎縣令第三十六號(卅二年五月十日)
明治卅二年四月内務省令第十號ニ依ル社團又ハ財團ヲ法人ト爲スニ付民法第卅四條ニ依リ内務大臣ノ許可ヲ要スル申請書又ハ其ノ許可ヲ得テ設立シタル法人及民法施行法第十九條ノ法人ヨリ内務大臣ニ差出スヘキ認可申請書及願届書ハ主タル事務所所在地ノ郡役所ニ差出スヘシ

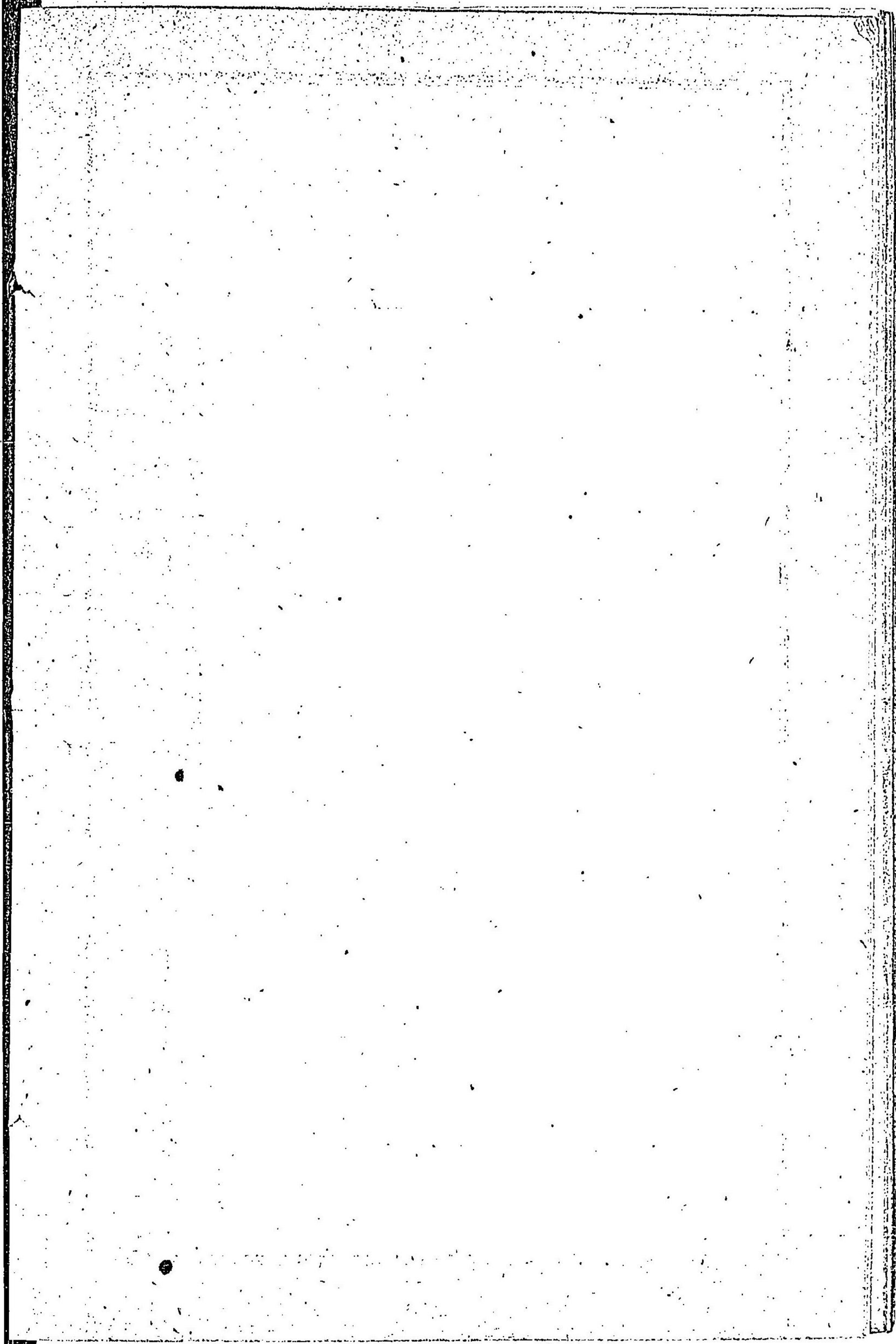


○訓令第四十七號(三十二年五月十六日)

町村役場

各恩給法又ハ官吏遺族扶助法等ニ依リ扶助料ヲ請求スル者ノ取扱規程ハ各其施行規則ニ明記有之通リ連署又ハ奥印ノ上地方長官ニ差出ヘキ筈ノ處或ハ市町村長ニ於テ請求書ノ書式又ハ證據書類ノ當否等取調ノ爲メ數日彼場ニ留置爲ニ請求期限ヲ經過スル者間々有之抑市町村長ノ奥印ヲ要スルハ其市町村内居住者タルヲ證スルノ必要アルヲ以テ施行規則ニ於テ規定セラレタル迄ノ事ニ付市町村長ノ故意又ハ過失ニ因ルトモ之カ爲メ法律上規定スル所ノ期限ヲ延長スヘキ理由之レナキニヨリ請求期限内ニ地方長官ニ提出セサル請求書ハ本人ノ權利消滅又ハ其權利ヲ拋棄シタルモノト見認メラルハノ外無之次第ニテ若シ斯ノ如キコト有之ニ於テハ請求者ニ對シ憫然ノ至リニ付右奥印ノ場合ニ於テハ不都合無之様取計フヘシ

○諭告第四號(三十三年九月二十二日)
毎年未頒布神宮大麻ノ儀本年末ヨリ神宮々域内授與大麻ト其形休ヲ異ニシ神宮奉齋會ヨリ頒布ニ付之ヲ拜受セントスルモノハ疑惑無之様致スヘシ



○訓令第九十九號(三十三年九月二十九日)

郡役所 警察署 警察分署
監獄支署 町村役場

左ニ記載ノ件ハ自今其都度訓令告示セサルヲ以テ官報府縣公報事項ニ就キ了知スヘシ
但シ明治二十四年五月訓令第三百二十八號ハ廢止ス

- 一 他ノ廳府縣令訓令告示ニシテ本縣ニ關係ヲ有スル事件
但急要ナルモノ又ハ特ニ告示ヲ要スルモノハ此限ニアラス
- 一 他ノ廳府縣都市役所町村役場位置變更及水火災等ニ罹リ書類燒失若ハ流亡ノ件但其役所
役場ニ對シ照會ノ事件未完結ナルトキハ其都度更ニ照會スヘシ
- 一 他ノ廳府縣町村ノ廢置、分合、名稱境界變更ノ件

○訓令第十二號(三十五年二月十四日)

郡役所 町村役場

元他府縣小學校訓導ニシテ明治二十五年文部省令第二號市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料支給規則第十二條ニ依リ退隱料又ハ扶助料ヲ受クル者其證書ヲ檢閲ヲ請フ者アルトキハ町村長ハ該證書ヲ檢閲シ其死亡若ハ權利消滅又ハ停止等ノ事故ナキヤ否ヤヲ精査シ受領權アルコトヲ認メタル上左式ノ證明書ヲ交付スヘシ

證明書

元何府縣何郡何小學校訓導兼校長

氏

名

又ハ

故何府縣何郡何小學校訓導(兼校長)氏名寡婦
(孤兒父母等)

氏

名

退隱料(扶助料)證書第何號
年額金何圓

一金何圓

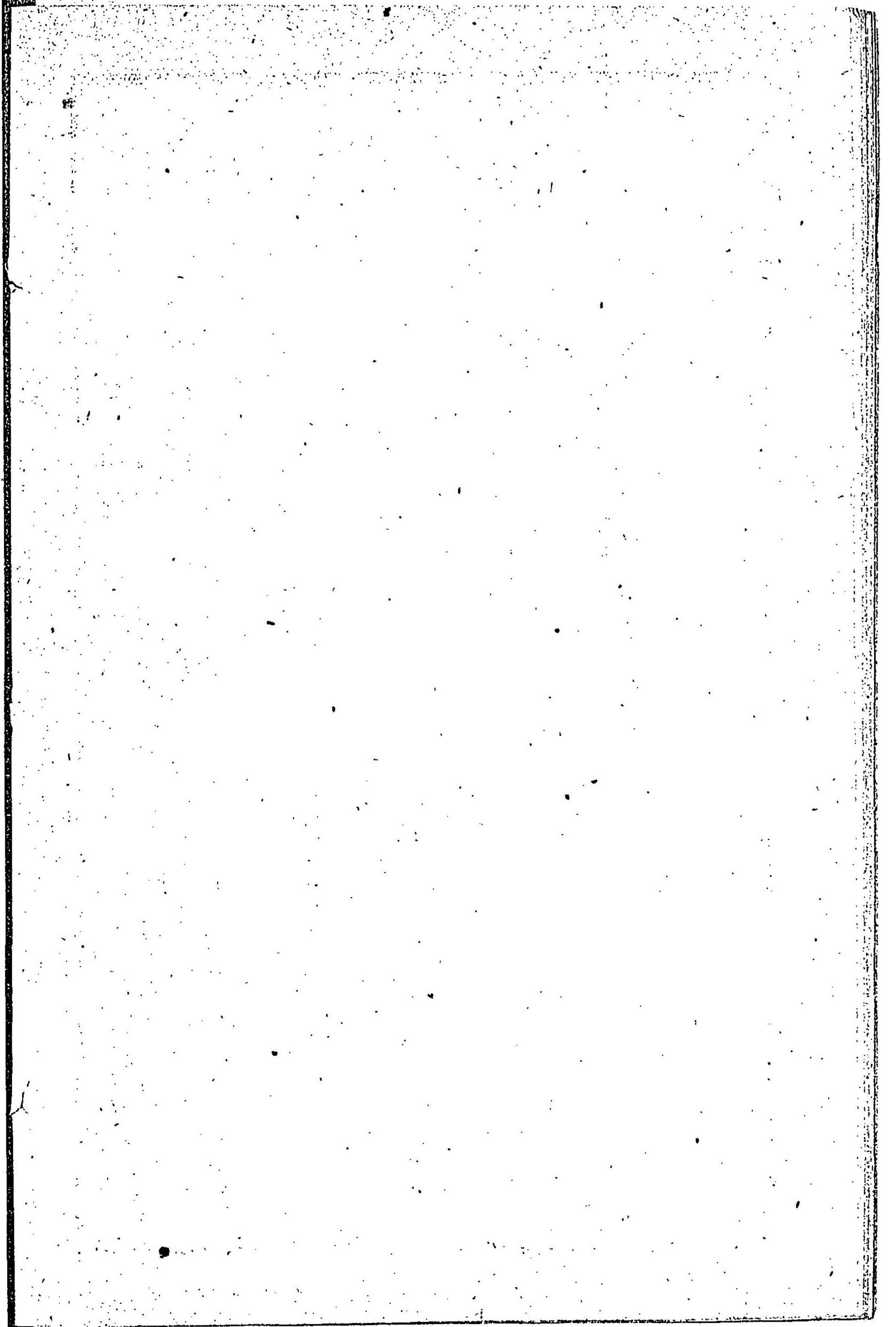
但何年何月支給ノ分

右證書ヲ檢閲シ其受領權アルコトヲ證明ス

年 月 日

何郡何町(村)長何氏

名 印



○諭告第三號(三十五年四月二日)
納税ハ臣民ノ義務トシテ最モ重大ナルモノナレハ賦課ノ命令ニ服從シ其義務ヲ履行スヘキハ
勿論ナルモ近來滯納處分ノ執行ヲ受クルモノ逐次増加シ剩ヘ酒造税法ノ施行ニ關シテハ當該
官吏ノ職務執行ニ際シ之ニ抵抗シ或ハ虛偽ノ申告ヲ爲シ處罰セラルハモノアルヤノ聞ヘアリ
之レ皆臣民ノ本分ニ背キ納税義務ヲ輕視スルノ結果ニ外ナラス爾後斯ル心得違之レナキ様特
ニ注意スヘシ

○訓令第十三號(三十七年二月二十七日)

- 郡役所 警察署 警察分署 公立學校
- 測候所 農事講習所 農事試驗場 水産試驗場
- 圖書館 町村役場

勤苦儉素餘財ヲ蓄蓄シテ以テ家國ノ基礎ヲ培養スルハ平素國民ノ宜シク奮勵努力スヘキ所ナリト雖軍國多事ノ今日ニ方リテハ轉々益々其ノ急要ナルヲ感セスンハアラス報効ノ道一ナラスト雖夙夜其ノ常業ニ勵ミ尙其ノ餘力ヲ以テ副業ニ從ヒ遊逸ヲ戒シメ濫費ヲ節シ其ノ餘ス處ハ零碎ノ資ト雖必ス之ヲ蓄積シテ以テ有用ノ資ニ供スルハ即是レ在內國民ノ國家ニ貢獻スル所以ニシテ一タヒ征外ノ將卒カ硝煙彈雨ノ間ニ出入シ殊死シテ戰フノ辛酸ヲ思ヒ來ラハ其ノ實行ヲ期スル蓋シ亦難キニアラサルヘシ今左ニ之カ組合規約ノ準則ヲ示ス各廳長及町村長ハ該準則ニ準シ自ラ率先シテ各部下ノ官吏吏員ヲ糾合シ相當ノ規約ヲ作り努メテ完全ナル實行ノ模範ヲ示シ又郡長及町村長ハ該準則ニ基キ各町村內ノ狀況ニ鑑ミ取捨斟酌シテ普ク之ヲ施設セシメ既ニ此ノ種規約ノ設ケアル部落ト雖其ノ規約ノ不備ニシテ其ノ目的ヲ達スルニ足ラサルモノハ夫々必要ノ修正ヲ加ヘシテ其ノ有効ナルモノニ對シテハ益々其ノ勵行ヲ促シ奮テ之カ實效ヲ擧ケシムルコトニ努力スヘシ

何村何(小字名)勤儉貯蓄組合規約準則

第一條 本組合ハ何村大字何字何ノ區域ニ依リ部内ニ居住スル者ヲ以テ組織ス
 風紀ヲ紊シ德義ニ反スル行爲ヲ爲シ又ハ組合ノ目的ヲ阻害スルノ虞アル者ハ組合員タルコトヲ拒絕シ又ハ除名スルコトアルヘシ
 組合員ハ組合ノ承認ヲ經ルニ非サレハ脱退スルコトヲ得ス
 第二條 本組合ハ時勢ノ必要ニ鑑ミ國本ヲ培フノ

聖旨ヲ奉體シ勤儉力行餘財ヲ蓄蓄シテ利用厚生ノ道ヲ講シ兼テ風俗ヲ匡正シ公益ニ資シテ報効ノ實ヲ舉クルヲ目的トス

第三條 本組合員ハ前條ノ目的ヲ達スル爲左ノ各項ヲ確守スヘシ

一早起晚寝業務ニ勵ミ尙ホ本業ノ餘暇ニ於テ工藝、飼畜、栽培、天産物ノ採取其ノ他各種ノ副業ニ従事スルコト

二公私ノ別ナク集會其ノ他定マリタル時刻ニハ必ス遲參セサルコト

三日常ノ生活ハ實益ヲ尙ヒ質素ヲ旨トシ奢侈虚飾ヲ戒メ飲酒喫煙等ハ成ルヘク之ヲ節制スルコト

四婚姻、縁組、出産、弔葬、年始、歳暮、初節句、彼岸會、盂蘭盆會、村祭、帳祝、作付祝其ノ他祝典、祭禮等ノ費用ハ堅ク之ヲ節約シ已テ得サル場合ノ外酒食ヲ饗シ又ハ贈答ヲ爲サ、ルコト

五已テ得サル場合ノ外各自金品ヲ醸出シテ酒食ヲ爲シ其ノ他交際上物品ヲ贈答シ又ハ來賓ヲ饗應セサルコト

六前各項ニ掲タルモノ、外各自各々其分ヲ守リ遊逸懶惰ヲ戒メ信義ヲ重シ品行ヲ慎ミ組合ノ趣旨ニ背カサル様心掛クルコト

第四條 貯蓄ヲ分テ定期ト臨時トニ區別シ縣稅戶數割ノ等級ニ依リ各自ノ等級ヲ定ムルコト左ノ如シ

- 等級
- 縣稅戶數割等級
- 一等 自何等至何等
- 二等 自何等至何等

三等 自何等至何等

四等 自何等至何等

定期貯蓄金ハ左ノ標準ニ依リ毎月三回五ノ日ニ出金スルモノトス(便宜毎月一回ト爲シ又ハ日掛ノ方法ニ依リモ妨ナシ)

一等 貳拾錢以上(一日貳錢) 拾五錢以上(一日壹錢) 拾錢以上(一日壹錢) 五錢以上(一日貳錢)

臨時貯蓄ハ左ノ標準ニ依リ其ノ行事後七日以内ニ出金スルモノトス

區別

一等	壹圓以上	五拾錢以上	參拾錢以上	拾五錢以上
二等	五拾錢以上	參拾錢以上	拾五錢以上	拾錢以上
三等	拾錢以上	五錢以上		

縁組 五拾錢以上 參拾錢以上 拾五錢以上 拾錢以上

年産 五拾錢以上 參拾錢以上 拾五錢以上 拾錢以上

弔葬 五拾錢以上 參拾錢以上 拾五錢以上 拾錢以上

村祭 五拾錢以上 參拾錢以上 拾五錢以上 拾錢以上

初節句 五拾錢以上 參拾錢以上 拾五錢以上 拾錢以上

盂蘭盆會 五拾錢以上 參拾錢以上 拾五錢以上 拾錢以上

婚姻及縁組ハ當事者ノ双方ヨリ各別ニ貯金スヘキモノトス

第五條 本組合ニ組長一名世話役何名ヲ置キ組合員中相當ノ資力ヲ有シ且衆望ノ歸スル者ノ中ニ就キ之ヲ選任ス(部落ノ都合ニ依リ世話役ヲ置カサルモ妨ナシ)

前項ノ選任ハ町村長へ委嘱スルモノトス(組合員ノ選任ト爲スモ妨ナシ)

組長ハ本組合ニ關スル一切ノ事務ヲ處理ス

世話役ハ一定ノ區域内ニ屬スル左ノ事務ヲ擔任ス

一時々擔當區域内ヲ巡視シテ組合規約ノ實行ヲ督勵スルコト

二組合員ノ貯金ヲ受領シ之ヲ組長ニ送附スルコト
組合員ノ報酬ハ組合員各自ヨリ適宜之ヲ釀出スルモノトス

第六條 貯金ハ組長ニ於テ之ヲ取纏メ各自ノ通帳ヲ以テ郵便局ニ預ケ入レ其ノ通帳ハ組長ニ

於テ之ヲ保管スルモノトス但シ組合員ハ何時ニテモ組長ニ請求シテ之ヲ閲覧スルコトヲ得

第七條 定期貯金ノ内一等乃至三等ニ屬スルモノハ毎八ノ日マテニ四等ニ屬スルモノハ其月
廿八日マテニ臨時貯金ハ受領ノ日ヨリ三日以内ニ郵便局ニ預ケ入ル、モノトス

第八條 貯金ハ左ニ掲クル場合ノ外其ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得ス

一 國家有用ノ資ニ供セントスルトキ

二 組合ヲ脱退シタルトキ

三 右ノ外組長及世話役ニ於テ已ヲ得サル事情アリト認メタルトキ

第九條 本組合ハ町村長ノ監督ヲ受クルモノトス

第十條 組長ハ毎年一月七月ノ兩度ニ於テ貯金表ヲ調製シ之ヲ町村長ニ報告スルモノトス

第十一條 本組合ハ明治三十七年何月ヨリ明治四十二年何月マテ五ケ年間繼續スルモノトス
前項ノ存續期間ハ期間滿了前ニ於テ更ニ之ヲ延長スルコトアルヘシ

備考

一 定期又ハ臨時ニ於テ義務額以外ノ貯金ヲ爲サントスルトキハ便宜其ノ規定ヲ設クヘシ

二 臨時貯蓄金ヲ各組合員ノ共有トシ組合ノ費用其ノ他賞與等ニ充テントスルトキハ左ノ例

ニ準シ適宜之ヲ規定スヘシ

(一) 臨時貯蓄金ノ半額ハ各組合員ノ共有トシ組合事務取扱ノ爲要スル費用ニ充テ尙ホ殘餘
アルトキハ左ノ區別ニ依リ賞與ヲ行フモノトス

三分ノ二以内貯蓄者賞與

三分ノ一以内役員賞與

(二) 貯蓄者ニ對スル賞與ハ貯蓄者中一ケ年間貯蓄金ノ全部又ハ幾部ノ拂戻ヲ爲サス且每期

ノ出金本規約ノ期限ヲ經過セザリシ者ニ對シ毎年一月一日平等(又ハ一定ノ歩合ヲ設
ケ)ニ之ヲ附與ス

三 規約郵便貯金ノ方法ニ依ラントスルモノハ便宜斟酌シテ之ヲ規定スヘシ

四 第十一條ノ存續期間ハ之ヲ五年以上ト爲スモ固ヨリ妨ナシ

○三十八年一月十四日縣令
第一號ニテ第一條第二條中
ヲ改ム

○宮崎縣令第二十一號(三十七年三月二十五日)

宮崎縣令及郡令公布ノ方法左ノ通定メ明治三十七年四月一日ヨリ施行ス

同二十六年宮崎縣令第八十一號ハ本令施行ノ日ヨリ廢止ス

第一條 宮崎縣令ハ日州新聞紙ニ登載シテ之ヲ公布ス

第二條 日州新聞紙發行ヲ休止若ハ廢止シ又ハ禁止若ハ差止メラレ又ハ其ノ發賣頒布ノ停止
セラレタルトキハ宮崎縣令ヲ登載シタル印刷物ヲ郡役所町村役場ニ配付スルヲ以テ公布式
トス

第三條 郡令ハ其ノ郡役所揭示場ニ揭示シ同時ニ其ノ郡令ヲ登載シタル印刷物若ハ謄本ヲ部
内町村役場ニ配付スルヲ以テ公布式トス

○三十八年一月十四日訓令
第一號ニテ改正アリ

○訓令第二十五號(三十七年三月二十五日)

郡役所 警察署 警察分署 地方測候所
公立學校 圖書館 農事試驗場 農事講習所

水産試驗場 町村役場 町村學校組合役場(特ニ組合役場ヲ設ケルモノハ郡視學並ニ師範學校附屬ノ學校郡町村立學校ニ一郡宛其ノ管理ノ廳校ヲ經テ配付ス)

日州新聞紙ニ登載公布ノ令達ハ仍其ノ印刷物ヲ配付ス但シ教育ニ關スルモノハ郡視學並ニ師範學校附屬ノ學校郡町村立學校ニ一郡宛其ノ管理ノ廳校ヲ經テ配付ス

圖書館及町村學校組合役場ニハ教育ニ關スル分ノミヲ配付ス

本令ハ明治三十七年四月一日ヨリ施行シ同二十五年訓令第七十號並ニ同二十七年訓令第一號ハ同日限リ廢止ス

○訓令第二十七號(廿七年三月二十八日) 郡役所 町村役場
本年二月 訓令第十三號ニ依リ勸儉貯蓄組合規約ヲ設ケタルトキハ直ニ其ノ規約寫ヲ添ヘ報告ス
ヘシ

○訓令第三十二號(三十七年三月三十一日)

郡役所 警察署 警察分署 地方測候所
縣立學校 圖書館 農事試驗場 農事講習所
水産試驗場 町村役場

官報ニ登載スル閣省ノ訓令又ハ達ニシテ各其ノ職務ニ關スルモノハ直ニ之ヲ遵行スヘシ但シ
當廳ニ於テ別段ノ令達ヲ發スルモノハ此ノ限ニ在ラス
明治十九年二月戊第十二號及全年五月乙第七十二號達ハ自今廢止ス

訓令第三十四號(三十七年四月十一日)

郡役所 警察署 警察分署 町村役場

左ノ事項ニ關シ他廳府縣所轄ノ支廳郡市區町村警察署等ニ對シ照會囑託等ヲ爲スノ必要アルトキハ所轄廳府縣ヲ經由セス直接往復スヘシ他廳府縣所轄ノ官公署ヨリ直接照會囑託等ヲ受ケ應答スルトキ亦同シ但シ警察署分署ニ於テ其ノ所轄ニ屬セル件ニ付照會囑託等ヲ受ケタルトキハ便宜當該署ヘ轉送方取計フヘシ

一、賞狀木杯下附ノ件

右ハ受領者所在市區町村長ヘ依頼ノ事

一、外國渡航者ノ身分調

右ハ所轄警察署分署ヘ照會ノ事但シ福岡縣ニ限り同縣ニ照會スヘシ

一、寄附金募集者ノ身分調

右ハ所轄警察署分署ヘ照會ノ事但シ兵庫縣及福岡縣ニ限り同縣ニ照會スヘシ

一、諸會社組合ノ定款書送付事業報告書又ハ現況調

右ハ可成直接會社組合ニ照會又ハ所在地市區町村長ヘ照會スル事但シ秘密調査ヲ要スルモノハ此限ニアラス

一、巡查退隱料交付ノ事

右ハ受領者所在市區町村長(郡役所々在地ニアリテハ郡長ニ囑託スルヲ得)ニ支給ヲ停廢スヘキ事由ノ有無調査交附ヲ囑託ノ事

一、巡查志願者身元素行等調

右ハ所轄警察署分署ヘ照會ノ事但シ前職アリシ者ニ關シテハ前在職廳府縣ヘ照會スルコトヲ妨ケス

一、郡市區町村長ニ照會ヲ要シ又ハ郡市區町村内ノ公私法人私人ニ金錢物件若クハ文書ヲ受授又ハ説諭ヲ爲ス等ノ場合ニ於テ事ノ輕易ニ屬スルモノ其ノ他所轄應府縣經由ノ必要ナキ件

右ハ直接郡市區町村長ニ宛テ發シ又ハ依頼スル事

○宮崎縣令第三十號(三十七年五月十四日)
 左ニ列記スル事件ニ關シ私人又ハ町村其ノ他ノ公共團體等ヨリ當廳ヘ差出スヘキ書類ハ郡役所ヲ經由スルヲ要セス其ノ他ノ書類ハ別ニ規定若ハ指示セルモノヲ除ク外所轄郡役所ヲ經テ差出スヘシ

明治二十五年四月縣令第三十二號ハ廢止ス

- 一 公益ノ爲金穀物品等ヲ寄附又ハ贈與シタル者ニ對スル賞與ノ上申
- 一 恩給遺族扶助料、退職料又ハ退職給與金ノ請求
- 一 縣有財産ニ對スル公課ノ請求
- 一 縣有財産ノ賣渡、讓渡、交換又ハ貸渡ニ關スル願
- 一 縣有財産ニ對スル權利ノ設定、變更、移轉ニ關スル登記請求願
- 一 縣廳管理ニ屬スル官有地及建物ノ拂下又ハ無代下渡ニ對スル登記請求願
- 一 復姓願
- 一 族稱延期願
- 一 軍資金獻納願
- 一 古物其ノ他金品、勞力等ノ寄附願
- 一 神職試驗願
- 一 行旅病人及死亡人ノ救護取扱報告並救護ニ要スル費用ノ請求
- 一 道路掃除濟屆
- 一 縣工事請負成功證明書下附願
- 一 土木工事起工規則ニ依ル私人起工願

- 一 渡船設置願
- 一 木材、槎筏流下延期願並流下濟願
- 一 荷車取締規則ニ依ル木材搬出願並終了屆
- 一 免租地變更願
- 一 官有地内並木及堤塘、道路、用悪水路、土居敷ニ屬スル枯損障害木伐採ノ申請
- 一 民有地内並木伐採願
- 一 官有土地水面使用願
- 一 官有產物特賣願
- 一 官立學校講習所入學願
- 一 船舶出入表
- 一 暴風警報信號ニ關スル報告並信號標修理ノ請求
- 一 種畜検査願
- 一 蠶種製造願
- 一 獸醫並蹄鉄工ノ試験及免狀下附願
- 一 銀行ヨリ提出スル申請、屆、報告
但シ營業認可申請ヲ除ク
- 一 同業組合ヨリ提出スル申請並報告
但シ發起、設立認可申請ヲ除ク
- 一 電氣事業ニ關スル願屆

- 一 度量衡ニ關スル願、請求、屆、報告
但シ免許願ヲ除ク
- 一 窮民救助並棄兒養育米代ノ請求
- 一 徴兵入營旅費ノ請求
- 一 勳章、年金、賜金、恩給金、退隱料、遺族扶助料金支拂ノ請求並證書查閱報告及受領者移動屆
- 一 教員加俸支拂ノ請求
- 一 産婆試験並名簿登録ニ關スル願屆
- 一 傳染病豫防費補助ノ申請
- 一 肺病及花柳病死者取調表
- 一 醫師、藥劑師免狀受領屆
- 一 醫師、藥劑師開業試験ニ關スル願
- 一 麻疹及流行性感胃患者及死体検案屆
- 一 汽車及船舶中ニ於ケル傳染病患者及死者費用償却ノ途ナキモノ又ハ患者ヨリ徴收スヘカラ
サルモノ、具申
- 一 阿片賣下方ノ請求
- 一 賣藥規則外製藥許可願
- 一 藥種商並製藥者免許並製造高及免許鑑札ニ關スル願屆
- 一 墓地及火葬場設置願

○告示第二百八十四號(三十七年十月十日)

濠洲ニ渡航セントスル本邦商人學生及旅行者ニシテ帝國政府發給ノ旅券ヲ有シ左記各項ニ遵依スルモノハ一時其ノ入國ヲ許可セラルヘキ事ニ同洲聯邦政府ト協定シ本年十年一日ヨリ實施セラレタリ

- 一、旅券面記載ノ氏名ハ必ス所持人ト同一ニシテ之ニ渡航ノ目的及滞在スヘキ大略ノ期間ヲ特ニ記載スヘキ事
- 一、旅券ニハ出發港ニ於ケル英國領事若ハ其ノ他英國官吏ノ裏書ヲ受クヘキ事
- 一、若十二ヶ月以上滞在セント欲スルトキハ將來ノ期間ニ對シ其ノ許可ヲ出願スヘキ事

○訓令第二十五號(三十九年六月十二日)

- 郡役所
- 警察署
- 警察分署
- 公立學校
- 地方測候所
- 農事試驗場
- 水産試驗場
- 圖書館
- 町村役場

獎勵制度ノ要ハ生民ノ勤勉力行ヲ勗メシメ零碎ノ資ト雖モ累積蓄一ハ以テ不時ノ用ニ備ヘシメ一ハ以テ獨立自營ノ業ニ於テ其ノ大成ヲ期セシメントスルニ在リ曩キニ時局倥傯ノ時ニ際シ訓令ヲ發シ貯蓄組合準則ヲ公布シタルニ之ニ據リテ組織セル組合數五百二十組合員一萬六千八百十一人貯蓄金額參萬六千七百貳拾五圓餘ニ達シ憚フヘキノ顯象ヲ示セリ然ルニ戰後人心ノ緩和ニ伴ヒ動モスレハ遲滯ニ流ル、ノ傾ナキニアラス其ノ消極的節制ノミヲ唱フルハ固ヨリ取ラサルトコロナルモ戰捷ノ餘榮ヲ負フテ浮華ノ風ニ染ムカ如キハ亦深ク之ヲ戒メサルヘカラス而シテ勤苦勞働餘財ヲ蓄積シ他日有用ノ資ヲ造ラシメ堅實ナル國民經濟ノ助長ヲ圖ルハ時局一時ノ事ニアラスシテ寧ロ平素ニアリテ存ス殊ニ戰後通貨ノ膨脹セル今日ニ於テハ頗ル其ノ切要ナルヲ認ム依テ今回其ノ實効ヲ期センカ爲メ報告ノ手續ヲ簡ニシ明治三十七年十月訓令第六十號報告式ヲ左ノ通改ム各府長ハ絶ヘス之カ蓄積ニ意ヲ用非勤儉的美風ノ化導ニ勉ムヘシ

何府又ハ何町村勤儉貯蓄表

(各府長及町村長ハ本様式ニ依リ貯蓄表ヲ調製シ町村長ハ郡長ヲ經毎年四月末日マテニ報告スヘシ)

明治	前年	比	組合數	組合人員	貯蓄金額
年三月三十一日現在	年度末現在	増減			

明治 年 月 日

各府長(町村長) 氏

名印

知事宛

備考

- 一本表ニハ明治卅七年二月訓令第十三號ニ依リ新ニ設置シタルモノ及其ノ他ノ組合モ併記スヘシ
- 一著シキ金額ノ増減アルモノハ表末ニ其ノ事由ヲ説明スヘシ

○訓令第五十二號(廿九年一月十四日)

郡役所 警察署 公立學校 町村役場

- 勤儉貯蓄ノ實行ニ關シ縣下一般ニ諭告ヲ發シタルニ付テハ各廳長ハ各其ノ職責ニ從ヒ右趣旨ノ貫徹ヲ圖リ特ニ左ノ方法ニ就キ適切ナル施設ヲ爲シ時機ヲ見テ其ノ頗末ヲ開陳スヘシ
- 一戰捷ノ餘澤ニ加フルニ本年ノ農作ヲ以テス動モスレハ逸樂浪費ノ傾向ナキニアラス此際充分ノ注意ヲ加ヘ勤儉ノ旨趣ヲ徹底セシムルコト
- 一勤勞ニ對スル多少ノ行樂ハ敢テ扞制スヘキニアラサルモ斯ル場合ハ可成高尚ニシテ興味アルモノヲ撰ハシムルコト
- 一農産物ノ增收歩合ハ勿論其ノ他潤益ノ幾部ハ適切ナル方法ヲ講シテ之ヲ蓄積シ一ハ凶荒ニ備ヘ一ハ耕地整理灌溉排水其ノ他有益ナル事業ノ資ト爲スニ勤メシムルコト
- 一貯蓄組合ハ此際一層獎勵ヲ加ヘ尙其ノ基礎鞏固ナルモノハ之ヲ信用組合、販賣組合生産組合、購買組合等ノ組織ニ變更シ地方産業ノ發達ヲ助成セシムルコト
- 一行賞賜金ノ拂戻及利息ノ使用等ニ付テハ特ニ注意ヲ加ヘ尙論功行賞ノ典ニ浴セシ者ハ放肆安逸ヲ戒メ名譽ヲ全フスルニ勉メシムルコト
- 一學校職員ハ常ニ社會風教ニ注意シ機會アル毎ニ勤勉力行産業ニ勵ムノ氣風ヲ鼓吹シ堅實ナル國民經濟ノ發達ニ付説示スルコト

○諭告第四號(三十九年十
二月十四日)

勤儉貯蓄ニ就テハ組合準則等ヲ發布シテ屢々之ヲ懲誨シ來リシカ今年ハ幸ヒ天候順チ得米穀
ヲ初メ農産物近年罕レナル豊穰ニシテ漁獲ノ利モ亦尠カラヌ加フルニ這回ノ戰役行賞賜金モ
全縣ヲ通スレハ其ノ額巨大ナルモノアルヘシ斯ル年柄ナレハ其ノ餘潤ヲ蓄積スルコトハ頗ル
容易ナルヘク貯蓄ヲ實行スルニ於テ逸スヘカラサル好機トス然ルニ戰捷ノ餘澤ニ加フルニ豊
作ヲ以テシ動モスレハ人心弛緩ニ流レ浪費ニ陥ルノ傾向ナキヲ保セス如此ハ互ニ相戒メ相率
弁テ不急ノ費ヲ節シ貯蓄又ハ産業ノ組合ヲ組織シ或ハ耕地整理灌溉排水等地方生産ノ資ヲ成
シ以テ各自一家ノ利福ヲ増進スルト共ニ地方開發ノ基ヲ爲スヲ留意スヘシ

○訓令第五十四號(三十九年十二月二十八日)

郡役所 町村役場

郡町村等ニ於テ公園ヲ設置シ變更シタル場合ハ其設計圖面ヲ添へ又廢止シタル場合ハ其旨報告スヘシ但シ設置又ハ擴張ノ爲メ社寺境内其他官有地ヲ使用シ若ハ讓受ケントスル場合若ハ土地收用法ニ依リ民有地ヲ收用セントスル場合等ニ於テハ設置又ハ擴張ノ處分ヲ爲スニ先テ土地ノ使用讓受ケ收用等ニ關スル相當ノ手續ヲ履行スヘシ

○訓令第二十四號(四十二年四月十三日)
 天變地異ニ依リ人畜ノ死傷家屋土地ノ破壊流失其ノ他ノ異常及十戸以上並重要ノ關係アル家屋ノ火災又ハ火災ノ爲メ死人アリタルトキハ郡長ハ直ニ其ノ概況ニ當時知悉シ得タル被害數ヲ左表ニ準シ製表添付急報スヘシ
 町村長ハ左表ニ依リ精數取調往復ヲ除キ二日以内ニ郡長ニ差出シ郡長ハ之ヲ一表ニ製シ直ニ報告スヘシ
 明治二十九年十月訓令第百十四號ハ廢止ス

郡役所 町村役場

暴風雨又ハ何々被害取調表(何年何月何日ノ災害ニ屬スル分)

種別	町	村	人		畜		家		屋		水						
			死	傷	死	傷	全潰	半潰	破損	流失							
堤	何	何	計	町	村	計	町	村	計	町	村	計					
													決	潰	破	損	計
堤	何	何	計	町	村	計	町	村	計	町	村	計					
													所	延	間	所	延

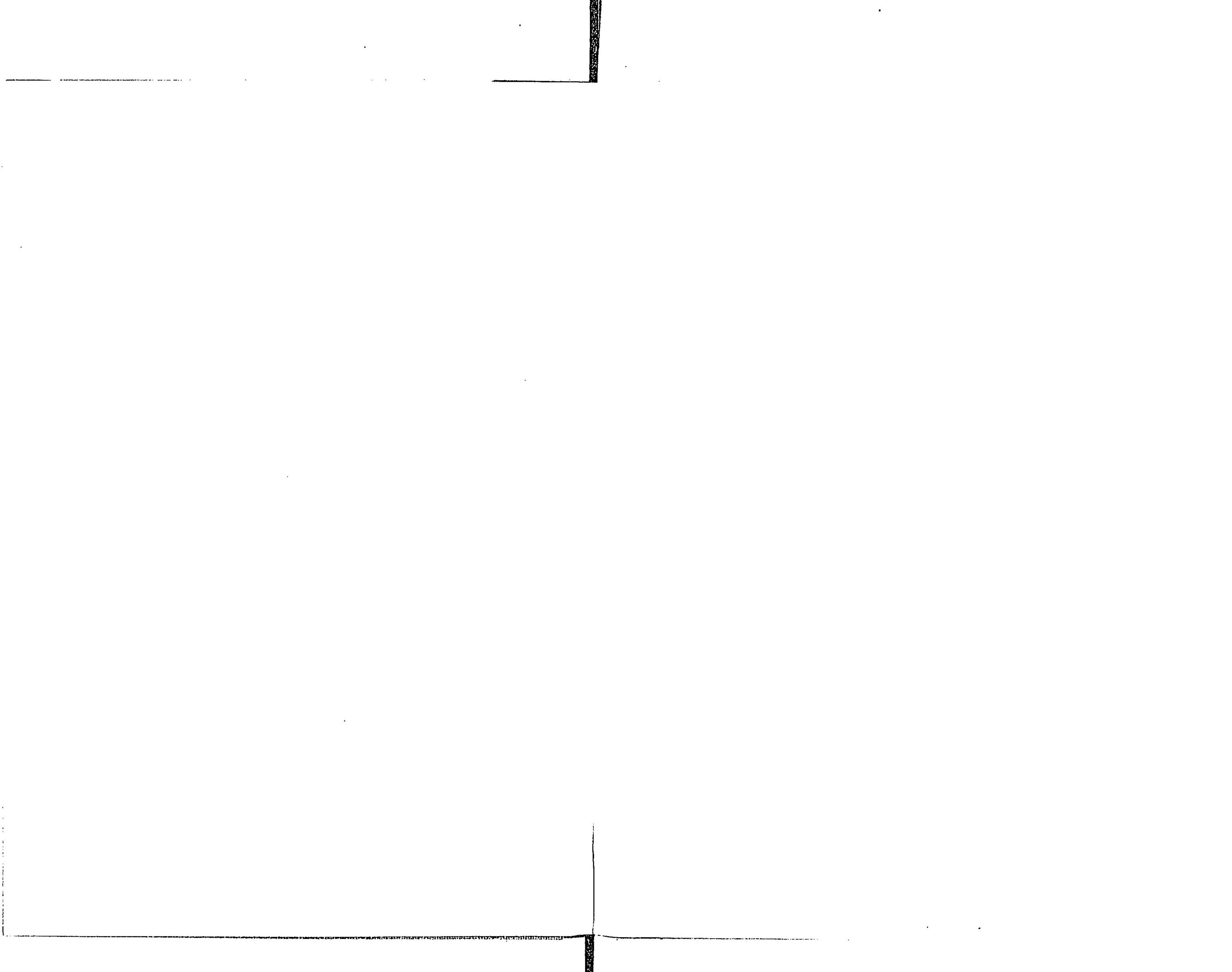
シ3M96

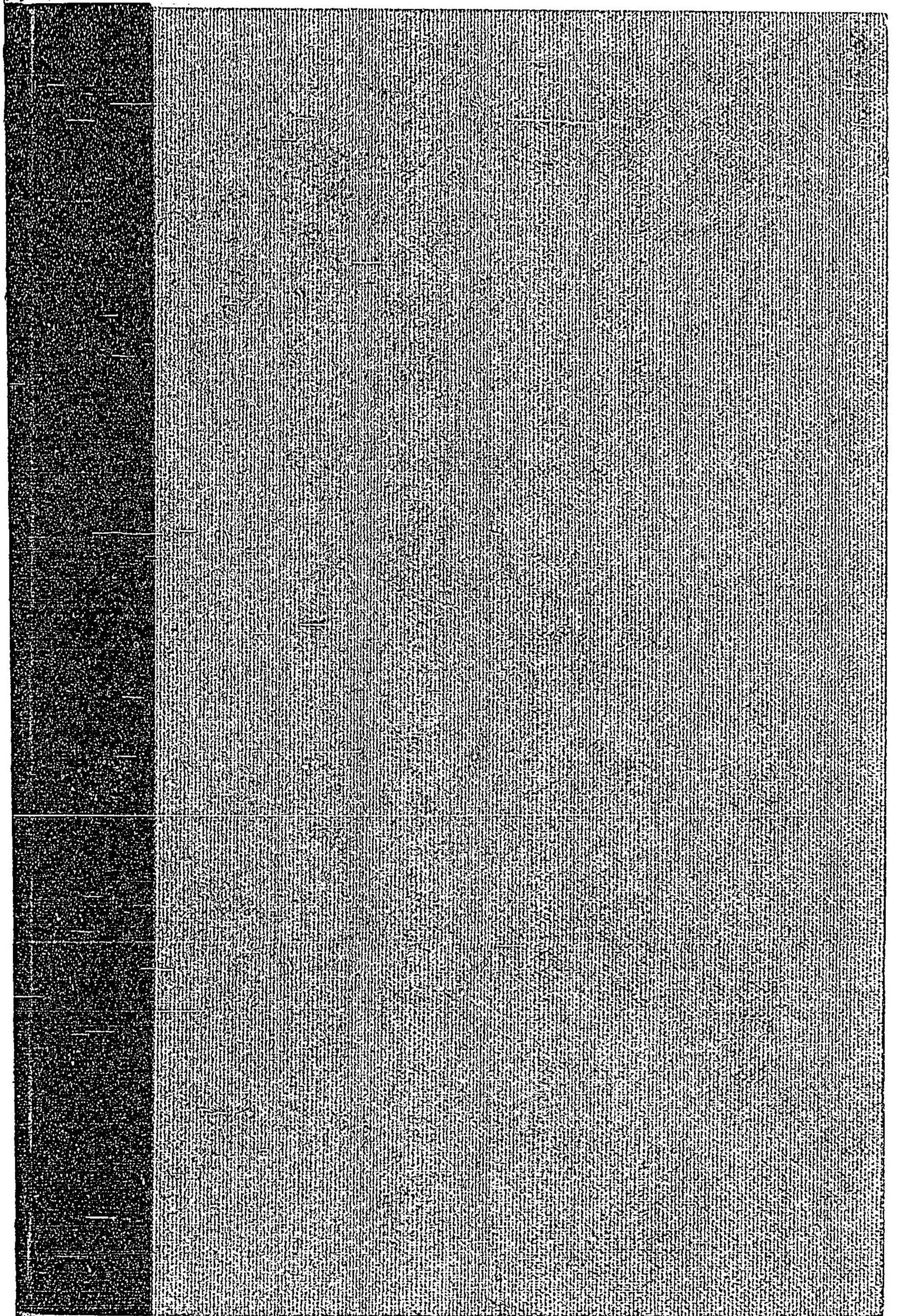
種別	町	何	計	橋		田		畑		宅		地		計
				流失	破損	浸水	流失	浸水	浸水	浸水	浸水	浸水	浸水	

種別	町	何	計	流		堤		船		山		場
				流失	破損	崩	破損	流失	破損	崩		

備考

- 一、家屋欄中住家ハ墨書シ社寺學校土藏納屋等ハ朱書スヘシ
- 一、家屋中官衙學校避病室其他重大ノ關係アルモノ、全潰又ハ流失ハ其名稱軒數ヲ備考ニ付記スヘシ
- 一、數回ノ災害ニ係ルモノハ毎回ニ就キ各別ニ製表スヘシ
- 一、被害數不詳ノ分ハ其欄中未詳ノ二字ヲ記入スヘシ
- 一、火災ノ節ハ家屋ハ全焼、半焼、破壊ニ區別シ破壊中ニハ類焼セサルモ消防ノ爲メ取毀テタルモノヲ掲記スヘシ





300291-000-2

CZ-1113-126

現行宮崎県令達彙纂 明治43年1月末日現在

宮崎県

1冊

1910

BBD-0022





[Faint, illegible text spanning the page, possibly bleed-through from the reverse side.]

○訓令第二十八號(廿五年二月廿九日)

出納官吏

出納官吏現金出納簿ノ儀從來一人ニシテ數職ヲ兼タル者ハ各職務(收入、現金前渡、細部出納官吏ノ類)並ニ各主管廳毎ニ各別ニ調製ヲ要シ候處來ルニ二十五年度ヨリ右區別方ヲ廢シ一人一冊ヲ備ヘ總テ之ニ記入整理スル儀ト心得ヘシ但現金出納簿ノ補助簿ヲ設ケ其職務並ニ主管廳ヲ區別整理スルハ妨ケナシ

一 郡町村等ニ於テ公園設置變更廢止等ノ場合取扱方
一 天變地異其他火災ノ爲メ人畜ノ死傷家屋土地ノ破壊流失其他異常アル片報告ノ件

全年全月
訓令第五十四號
訓令第二十四號

一三
一三

○乙第三十三號(十六年八月廿八日)
本縣下人民ニシテ他府縣巡查奉職之者歸郷中疾病其他事故ニ依リ願書ヲ要スル場合ニ於テ該事實ヲ表スル爲メ添書ヲ請求スル片ハ事實相違ノ有無ヲ調査シ添書可取計此旨相違候事

戸長役場

○乙第六十七號(十六年十一月十日) 戶長 役場
本縣下人民ニシテ他府縣看守押丁奉職之者歸郷中疾病其他事故ニ依リ願書ヲ要スル場合ニ於テ該事實ヲ表スル爲メ保證書ヲ請求スルハ事實取調之上保證書付與可取計此旨相達候事